

# 陳 述 書

以下の内容について、正直に申し述べました。

記載日 令和 年 月 日 年齢 歳

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

(自署したものを提出して下さい。)

以下の内容について、申立人から説明を受けて確認しております。  
⇒書類作成支援者において、別紙報告書のとおり、補足説明を加えております。  
令和 年 月 日  
書類作成支援者 司法書士

## 第1 家族・経歴等

### 1 家族及び同居人

私は独り暮らしです。

私の家族の状況及び同居人は次のとおりです。

続柄	氏 名	勤務先・学校名	年齢	月 収	同・別居	健康状態
			歳	万円		
			歳	万円		
			歳	万円		
			歳	万円		
			歳	万円		
			歳	万円		

◆同居人に収入があるので、以下の資料を提出します。  
 給与明細書（写し）  
 課税証明書，所得証明書  
又は源泉徴収票（写し）  
 年金受給証明書  
 生活保護受給証明書  
 その他：

◆家族に病気・長期療養歴等があるので、以下の資料を提出します。  
 診断書  
 入院・通院証明書  
 受診を示す資料  
 障害者手帳（写し）  
 その他：

## 2 最終学歴

昭・平 年 月

①中学 高校 大学 その他（ ）を②卒業 中退

## 3 結婚歴・離婚歴（相手の氏名は結婚前の姓で記入）

あります。 ありません。

①昭・平 年 月結婚⇒昭・平 年 月離婚（相手： ）子供の有・無

②昭・平 年 月結婚⇒昭・平 年 月離婚（相手： ）子供の有・無

③昭・平 年 月結婚⇒昭・平 年 月離婚（相手： ）子供の有・無

## 4 職 歴（所在地は分かるところまで可）

次のとおりです。 別紙記載のとおりです。

就 職～ 退 職	所 在 地	会社名又は屋号	自営・勤め	手取月収	退職金
年 月～ 年 月				万円	万円・無
年 月～ 年 月				万円	万円・無
年 月～ 年 月				万円	万円・無
年 月～ 年 月				万円	万円・無
年 月～ 年 月				万円	万円・無

## 第2 現在の生活状況

### 1 現在の就業状況は次のとおりです。

私は、現在働いています。 →→→→→→→→→→→→→→→→

①自営 勤め アルバイト パート 派遣

②業 種：

③職場名：

④地 位：

⑤就職日：昭・平 年 月

⑥月 収：約 万円 現金（振込 銀行）

⑦賞 与 無 有（年間約 万円）

⑧退職金 無

有 ⇒ 現在退職した場合の支給予定額（約 万円）

⑨特記事項（複数のアルバイトをしている、転職予定等）

以下の資料を提出します。  
(被用者の場合)…いずれも  
源泉徴収票(写し)  
給与明細書(写し)  
(上記書類がない場合)  
課税証明書 又は 所得証明書  
(自営の場合)  
過去2年分の確定申告書(写し)

↓  
以下の資料を提出します。  
退職金規程(写し)  
退職金見込額の証明書

□私は、現在無職です。

◆その理由

- 健康上の理由：
- 高齢のため仕事がない
- 求職活動中
- その他：

→→

以下の資料を提出します。

- 診断書
- 入・通院証明書
- 受診を示す資料
- 障害者手帳(写し)
- その他：

## 2 家計の状況

□添附の「家計の状況」記載のとおりです。

→→

★破産手続開始の申立後における「家計の状況」の  
続きについても免責審尋期日までに提出して下さい。

◆私は公的なお金を受給している  
ので、以下の資料を提出します。

- 生活保護受給証明書
- 年金受給証明書
- 失業保険受給証明書
- その他：

□私は、給料の差押えを受けています。

→→

以下の資料を提出します。

- ①差押えた債権者：債権者番号 番  
：債権者名 ( )  
時 期：平成 年 月から  
⇒□現在も継続中です。  
□既に取立てが完了しています。
- ②差押えた債権者：債権者番号 番  
：債権者名 ( )  
時 期：平成 年 月から  
⇒□現在も継続中です。  
□既に取立てが完了しています。

- 差押え決定(写し)
- 配当表(写し)

## 3 住 居

- (1)□自分の持ち家
- (2)□配偶者の持ち家
- (3)□親族 ( ) の持ち家

→→

以下の資料を提出します。

→→

(いずれも)

→→

- 不動産登記簿謄本
- 固定資産税評価証明書

(4)□借 家

- ①種 類：□公団 □県・市営 □民間 □社宅・寮
- ②家 賃：月額 万 円・共益費含む
- ③敷 金： 万円
- ④賃借人は □私  
□私以外の ( ) です。

→→

該当する以下の資料を提出  
します。

- 賃貸借契約書(写し)
- 使用許可証(写し)
- その他：

4 今回の申立前6か月以内に転居したことは、

ありません。

あります。

⇒転居費用の調達方法：

### 第3 破産手続開始の原因となる事実が生ずるに至った事情等

#### 1 現在の負債の状況

##### (1) 債権者一覧表

滞納公租公課一覧表

労働債権一覧表

} 記載のとおりです。

##### (2) 個人債権者との関係

私と、債権者一覧表の中にある個人名の債権者との関係（例えば、親、兄弟姉妹、友人、知人、雇用主、金融業者等）は、次のとおりです。

①債権者番号 番との関係は、

②債権者番号 番との関係は、

③債権者番号 番との関係は、

④債権者番号 番との関係は、

⑤債権者番号 番との関係は、

#### 2 債務増加の経緯等及び破産手続開始申立てに至る原因等

(1) 私が、初めて銀行やサラ金業者、信販会社等から借入れやクレジットによる物品購入などをしたり、他人の保証をしたりしたのは、

①昭・平 年 月ころで

②その具体的事情は次のとおりです。→→

★収入がどの位で、何が必要で誰から借り入れ、  
或いはクレジットで物品を購入したのか、返済  
の見込みなどを具体的に記載して下さい。

別紙「債務増加の経緯」記載のとおり

(2) 私の債務が増加していった経緯及び事情は、別紙「債務増加の経緯」記載のとおりです。

★別紙「債務増加の経緯」は必ず作成して添付して下さい。

(3) 今回私が、破産手続開始の申立てをしなければならなくなったのは、次のことが原因だと思います（該当する□全てにレ点を付ける。）。

浪費・ギャンブル

自分の返済能力を考えずに、無計画に借入や購入をした。

自分の返済能力を考えずに、暮らしのレベルを周囲の者と同じにした。

日常の生活費が足りなかった（理由： \_\_\_\_\_）

営業成績を上げようと思い、経費を負担しすぎた。

病気・事故により働けなくなった。 →→→→→→→→→→

家族の医療費がかさんだ。 →→→→→→→→→→

**以下の資料を提出します。**  
診断書  
入院・通院証明書  
受診を示す資料

勤務先が経営不振となり、倒産した。

解雇された。

退職した。

給料が減った。

事業に失敗した。

⇒失敗したのは、私 配偶者 →→→→→→→→→→

\_\_\_\_\_ です。

**◆私が経営していた会社が倒産したので以下の資料を提出します。**  
商業登記簿謄本

家族が破産した若しくは破産の申立てをした。

⇒破産若しくは破産の申立てをしたのは、

配偶者 父 母  \_\_\_\_\_ です。

◆特記事項（裁判所名、事件番号、破産手続開始日・宣告日、免責決定日等）

保証人になったところ、主債務者が支払不能になった。

その他：

(4) 今回の破産手続開始申立費用の調達方法

収入からの積立て・分割払い

財産の処分等（具体的内容：

法律扶助

→→→→→→→→→→

**□法律扶助に関する決定書写しを提出します。**

他者からの援助

⇒親族： \_\_\_\_\_ から 友人・知人： \_\_\_\_\_ から

雇用主

その他：

その他：

(5) 家族は、私の破産手続開始の申立てを

知っています。⇒知っているのは、配偶者 父 母  \_\_\_\_\_ です。

知りません。知らせていない理由は、次のとおりです。

私に家族はいません。

### 3 返済に関する状況等

(1) 返済が遅れるようになったのは、昭・平 年 月ころからです。

(2) 借金などの返済のために借入れをしたのは

ありません。

あります。

①昭・平 年 月ころからで

②債権者番号の 番から借りました。

(3) 最後に借入れや物品の購入等をしたのは、次のとおりです。

①時 期：昭・平 年 月〔上 中 下旬〕ころ

②債権者名： =債権者番号 番

③金 額： 万円

④用途又は購入物品：

⑤そのときの負債合計額： 約 万円

月 収： 約 万円

1か月の返済合計額：約 万円

★実際に支払っていた金額ではなく、返済すべき金額を記入する。

(4) 債務を支払えないと思うようになった時期等は次のとおりです。

①平成 年 月〔上 中 下旬〕ころ

②理由：

③そのときの収入：約 万円

④1か月の返済額合計：約 万円

(5) 債務を支払えないと思うようになった時期以降に、新たに借金したり、商品を購入したことは

あります。それは債権者番号 番の債権者からです。

ありません。

(6) 債務の返済状況について

①昭・平 年 月ころから、全く支払っていません。

今も一部支払っています。その債権者は、以下のとおりです。

・債権者番号 番に対して、月々 万円

理 由：

・債権者番号 番に対して、月々 万円

理 由：

全額保証債務であり、これまで支払をしたことはありません。

② 一度も支払っていない債権者は

いません。

います。⇒債権者番号 番の債権者です。

その理由：

4 前記2項(1)記載の債務を負うようになって(最初の借入やクレジットなど)以降、次の支出((1)ギャンブル、(2)飲食店や風俗店などでの遊び、(3)20万円超の商品購入、(4)投機的取引、(5)旅行、(6)冠婚葬祭、(7)趣味等)をしたことが

ありません。

あります(次の(1)ないし(7)のとおりです)。

(1)ギャンブル(競馬、競輪、競艇、パチンコなどの賭け事)

①種類:

時期:昭・平 年 月ころ～昭・平 年 月ころまで

頻度等:1か月に ～ 回程,

1か月に合計 ～ 万円位使いました。

②種類:

時期:昭・平 年 月ころ～昭・平 年 月ころまで

頻度等:1か月に ～ 回程,

1か月に合計 ～ 万円位使いました。

書ききれないので、後記第8若しくは別紙を作成して詳しく説明しています。

(2)スナック・キャバレー等の飲食店や風俗店などでの遊び

①具体的内容:

時期:昭・平 年 月ころ～昭・平 年 月ころまで

頻度等:1か月に ～ 回程行き,

1か月に合計 ～ 万円位使いました。

②具体的内容:

時期:昭・平 年 月ころ～昭・平 年 月ころまで

頻度等:1か月に ～ 回程行き,

1か月に合計 ～ 万円位使いました。

書ききれないので、後記第8若しくは別紙を作成して詳しく説明しています。

(3)20万円を越える商品(車、着物、貴金属、絵画など)の購入

① を、昭・平 年 月ころ 万円位で購入しました。

現在保管しています。

⇒債権者に引上げの連絡をしました。

引上げ予定です。

引上げないと言われました。

質入れしました。

→→→

売却しました。

→→→

債権者番号 番の債権者が、

平成 年 月ころ、引き上げました。

→→→

その他

以下の資料を提出します。

質札(写し)

売買契約書その他売却資料(写し)

受領書その他引上げを証する資料(写し)

② \_\_\_\_\_ を，昭・平 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころ \_\_\_\_\_ 万円位で購入しました。

現在保管しています。

⇒債権者に引上げの連絡をしました。

引上げ予定です。

引上げないと言われました。

質入れしました。

売却しました。

債権者番号 \_\_\_\_\_ 番の債権者が，  
平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころ，引き上げました。

その他

→→→

→→→

→→→

以下の資料を提出します。

質札（写し）

売買契約書その他売却  
資料（写し）

受領書その他引上げを  
証する資料（写し）

#### (4) 投機的取引（株，先物取引等）

①その内容：

時 期：昭・平 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころ～昭・平 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころまで

合 計： \_\_\_\_\_ 万円位使いました。

商品等は：残っています。⇒取引口座は \_\_\_\_\_ です。

残っていません。

その理由：

②その内容：

時 期：昭・平 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころ～昭・平 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころまで

合 計： \_\_\_\_\_ 万円位使いました。

商品等は：残っています。⇒取引口座は \_\_\_\_\_ です。

残っていません。

その理由：

#### (5) 国内・海外旅行

→→→→→→→→→→→→→→→→

①時 期：昭・平 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころ

②行き先：

③金 額： \_\_\_\_\_ 万円程使いました。

以下の資料を提出します。

パスポートの写し（全部）

#### (6) 結婚式，葬式などの冠婚葬祭，親族への援助

① \_\_\_\_\_ のため，昭・平 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころ， \_\_\_\_\_ 万円程使いました。

② \_\_\_\_\_ のため，昭・平 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころ， \_\_\_\_\_ 万円程使いました。

③ \_\_\_\_\_ のため，昭・平 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころ， \_\_\_\_\_ 万円程使いました。

#### (7) その他（趣味等）

①具体的内容：

②時 期：昭・平 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころ～昭・平 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月ころまで

③頻 度 等：1か月に \_\_\_\_\_ 回程，1か月に合計 \_\_\_\_\_ 万円程度使っていました。

5 借入等をした際の事情

(1) 事実（住所・氏名・生年月日・使途・債務総額・収入など）を偽って借入れ等をしたことは

ありません。

あります。

①時期：昭・平 年 月ころ

債権者名： 債権者番号 番

具体的事情：

②時期：昭・平 年 月ころ

債権者名： 債権者番号 番

具体的事情：

③時期：昭・平 年 月ころ

債権者名： 債権者番号 番

具体的事情：

書ききれないので、後記第8若しくは別紙を作成して説明しています。

(2) 最初から、換金することを目的にしてクレジットを利用して商品を購入して、換金処分したり、架空ローンを組んだことは

ありません。

あります。

①その内訳は次表のとおりです。

考えたのは 私 私以外の 。

動機は 。

購入年月	購入店名	商品名	購入金額	処分先	換金額	使いみち
年 月			万円		万円	
年 月			万円		万円	
年 月			万円		万円	
年 月			万円		万円	
年 月			万円		万円	
年 月			万円		万円	

②書ききれないので、後記第8若しくは別紙を作成して説明しています。

## 第4 過去の債務整理等

1 私は、過去に親族などに負債整理のための資金援助をしてもらったことが

ありません。

あります。

(1) その具体的な内容は次のとおりです。

①時期：昭・平 年 月 ころ

援助者： から

金額： 万円

その結果：債務は完済となりました。  万円の債務が残りました。

②時期：昭・平 年 月 ころ

援助者： から

金額： 万円

その結果：債務は完済となりました。  万円の債務が残りました。

(2) 上記(1)のとおり債務整理のために資金援助をしてもらったにもかかわらず、今回破産  
手続開始の申立てをしなければならなくなった原因は、次のとおりです。

2 現在の債務について、債権者と話合いをしたことが

ありません。

あります。

任意の話合いをしました。⇒債権者番号 番, 番, 番の債権者と

その結果：

調停をしました。⇒債権者番号 番, 番, 番の債権者と

その調停は、成立しました。不成立となりました。取下げとなりました。

3 これまでに破産手続開始決定（破産宣告を含む。）を受けたことが

ありません。

あります。

①時期：昭・平 年 月 日

②裁判所名：

4 これまでに免責決定を受けたことが

ありません。

あります。 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→

- ①裁判所名：
- ②事件の表示：平成 年（フ）第 号  
平成 年（モ）第 号
- ③免責決定確定日：昭・平 年 月 日

以下の資料を提出します。  
免責決定（写し）  
免責決定確定証明書  
官報（写し）

5 これまでに給与所得者等再生手続を利用し、再生計画に定められた弁済を終了したことが

ありません。

あります。 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→

- ①裁判所名：
- ②事件の表示：平成 年（再ロ）第 号

以下の資料を提出します。  
再生計画認可決定（写し）

6 これまでに個人再生手続を利用したが、再生計画の遂行が極めて困難となり、免責の決定を受けたことが

ありません。

あります。 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→

- ①裁判所名：
- ②事件の表示：平成 年（再 ）第 号  
平成 年（ ）第 号

以下の資料を提出します。  
再生計画認可決定（写し）

7 これまでに再生手続開始の申立てをし、当該申立ての棄却、再生手続廃止又は再生計画不認可の決定が確定した事実が

ありません。

あります。 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→

- ①裁判所名：
- ②事件の表示：平成 年（再 ）第 号
- ③決定の内容：再生手続開始申立棄却  
再生手続廃止  
再生手続不認可
- ④確定日：平成 年 月 日

以下の資料を提出します。  
再生手続開始申立棄却決定確定証明書  
再生手続廃止決定確定証明書  
再生手続不認可決定確定証明書

## 第5 財産関係

1 現在の財産は、「財産目録」記載のとおりです。 →→→→→

財産目録に記載した資料を提出します。

(1) 私が有している債権（あなたが誰かから支払ってもらうべきもの）は

ありません。

あります。その内容は、次のとおりです。 別紙記載のとおりです。

①具体的な内容（いつ、誰に対して、どのような原因により債権をもっていますか。）

i 時期：昭・平 年 月 ころ

ii 誰に対し：氏名：

住所：

iii 種類：

iv 金額： 万円

②その債権を回収することは

できます。

できません。 →→→→→

◆その理由

債権の回収不能に関する以下の資料を提出します。

転居先不明で戻ってきた郵便

不在証明

住民登録の該当者なしの証明書

破産手続開始通知（写し）

受任通知（写し）

申立人の調査報告書

その他：

(2) 離婚している場合

① 前夫（妻）から、養育費、慰謝料、財産分与を受け取る内容の合意や調停は

ありません。

あります。⇒養育費 慰謝料 財産分与

② ①の養育費、慰謝料、財産分与について

既に受け取りました。 現在受け取り中です。

養育費（具体的内容：月額 万円 昭・平 年 月 日）

慰謝料（具体的内容： 万円 昭・平 年 月 日）

財産分与（具体的内容： 昭・平 年 月 日）

これから受け取る予定です。

相手の氏名：

住所：

受け取ることができません。

その理由：



③上記不動産の購入（入手）方法

- 万円で購入
- 相続した。  からもらった。

④上記不動産の処分年月日：昭・平 年 月 日

⑤上記不動産の処分方法

- 競 売 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→
- 売 却 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→
- 贈 与⇒その相手は
- 財産分与⇒その相手は

**以下の資料を提出します。**  
**(競売の場合)**  
 競売開始決定（写し）  
 配当表（写し）  
**(売却の場合)**  
 売買契約書（写し）

⑥前記不動産の処分価格： 万円

⑦処分時の被担保債権額： 万円

⑧上記被担保債権を弁済して、剰余（余り）は

- ありませんでした。
- 万円ありました。

⑨その剰余金は次のとおり使いました。 →→→→→→→→→→

- 生 活 費： 万円
- 債 務 弁 済： 債 権 者 番 号 番 万円
- 債 権 者 番 号 番 万円
- 債 権 者 番 号 番 万円
- そ の 他

**以下の資料を提出します。**  
 売却代金使途明細書

(2) 過去1年間程の間に財産の処分（保険の解約，車・着物・洋服・貴金属等の売却や質入れ，会員権・株券・絵画の譲渡等）をしたことは

- ありません。
- あります。  
⇒その内容は次表のとおりです。

**該当する以下の資料を提出します。**  
 保険解約返戻金の受領を証する資料  
 質札（写し）  
 売買契約書（写し）  
 領収書等（各写し）  
 使途明細書  
 その他：

★「処分した物」が保険の解約の場合、  
 保険会社，保険の種類，証券番号を  
 付記して下さい。

処分年月	処分した物	処分金額	処分先	使いみち
年 月		万円		
年 月		万円		
年 月		万円		
年 月		万円		

(3) 財産を相続したことが

ありません。 →→→→→→→→→→→→→→→→

◆相続放棄をしたことがあるので以下の資料を提出します。  
相続放棄申述受理通知書又は証明書（写し）

あります。

昭・平 年 月ころ亡くなった の遺産について

私は を取得しました。 →→→

昭・平 年 月ころ、遺産分割協議をしましたが、私の取り分はありませんでした。 →→→

亡 名義のままの財産が残っています。

⇒その財産とは , です。

相続人は 人で、

私の持分は 分の1です。

以下の資料を提出します。  
遺産分割協議書（写し）

残っている財産が不動産なので、財産目録に記載した資料を提出します。

(4) 過去に退職金・保険金・慰謝料その他の金銭の支払いを受けたことが

ありません。

あります。 →→→→→→→→→→→→→→→→

①時期：昭・平 年 月ころ

②種類：退職金 保険金 慰謝料 その他

③金額： 万円

④使途：生活費 借金返済 その他（ ）

書ききれないので、後記第8若しくは別紙を作成して説明しました。

以下の資料を提出します。  
(いずれも)  
受領を示す書類  
使途明細書

(5) その他に、20万円以上の財産を取得したことは

ありません。

あります。その内容は次表のとおりです。

取得時期	財産の内容	金額	取得理由
年 月		万円	

4 財産に関してされている他の手続又は処分

現在私の財産に関して「係属中の他の事件（強制執行、仮差押え、仮処分、訴訟等）」又は「国税滞納処分等」は

- ありません。
- あります。その内容は別紙「係属中の事件等一覧表」に記載のとおりです。

該当する以下の資料を提出します。

強制競売開始決定（写し）

債権差押命令（写し）

仮差押命令（写し）

仮処分命令（各写し）

訴状（写し）

滞納処分差押通知書（写し）

その他：

第6 関連事件の有無

1 現在私について係属している破産事件又は再生事件は

- ありません。
- あります。 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→
- ①裁判所名：  
②事件の表示：平成 年（ ）第 号

以下の資料を提出します。

破産手続開始決定（写し）

再生手続開始決定（写し）

受理証明書

2 現在私が代表者である法人について係属している、終局している、申立てを予定している破産事件、再生事件又は更生事件は

- ありません。
- あります。 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→
- ①裁判所名：  
②事件の表示：平成 年（ ）第 号  
③破産者若しくは債務者、再生債務者又は更生会社  
若しくは開始前会社の氏名又は名称  
：

以下の資料を提出します。

破産手続開始決定（写し）

再生手続開始決定（写し）

更生手続開始決定（写し）

受理証明書

3 現在私と相互に連帯債務者の関係にある個人について係属している破産事件は

- ありません。
- あります。 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→
- ①裁判所名：  
②事件の表示：平成 年（ ）第 号  
③破産者若しくは債務者の氏名  
：

以下の資料を提出します。

破産手続開始決定（写し）

受理証明書



## 第8 予備欄

(記入欄に記載しきれなかった場合や特に述べたいことがあったら記載して下さい。もし書ききれない場合には別紙を作成して添付して下さい。)